

● 停電発生時の操作方法

お使いの蓄電池のメーカーを選択します。

京セラ

蓄電池本体
屋外設置

パナソニック

蓄電池本体
屋内設置

● 停電発生時の操作方法

京セラ

蓄電池のタイプを選択します。

マルチ型

蓄電池屋外設置
EGS-ML0650
EGS-ML0721

単独型

蓄電池屋外設置
EGS-LM72A
EGS-LM72B
EGS-LM1201

[TOPへ戻る](#)

※停電時は自動的に自立運転に切り替わります。

停電時**特に操作不要。**

重要負荷（予め特定していた電源）への供給が蓄電池からの供給へ自動的に切り替わります。
特に操作はいりません。

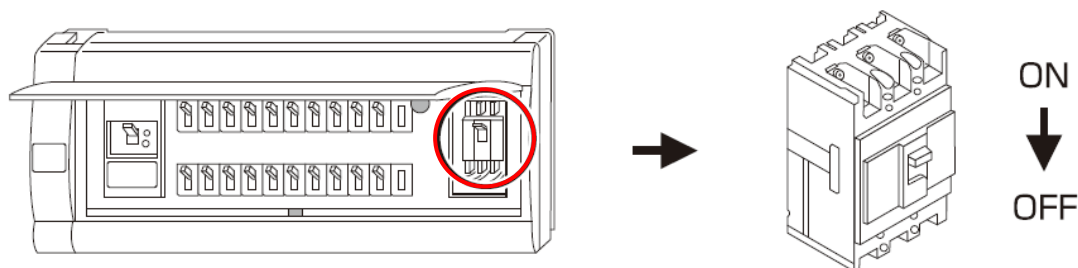
! 注意

- ・重要負荷では、AC100V 1500W（消費電力合計）までの電気機器がご使用になれます。
日照条件によって出力できる電流が低くなる場合があります。
- ・ドライヤーや掃除機など急激に電流が流れる機器を使用すると、保護機能が働いて
パワーコンディショナが停止することがあります。非常用コンセントでご使用の機器を減らしてください。
不可電力が下がれば自動的に自立運転が再開されます。

※蓄電池側は自動的に切り替わりますが、太陽光発電用のパワコンの自立運転への切り替え操作が必要です。
(太陽光のある「日中」でないと、自立運転への切り替えはできません。)

STEP 1 太陽光連系ブレーカーをOFFにする（省略可）。

頻繁に停電、復電が繰返される場合は、太陽光発電用パワコン機器の保護のためにOFFにすることをお勧めしますが、通常停電の場合はONのままでも非常用電源の使用に支障はありません。



※通常、太陽光発電ブレーカは分電盤の中、または分電盤の付近にありますが、建物の築年数や分電盤の仕様によって場所が異なる場合があります。

STEP 2 太陽光パワコンを自立運転モードへ切り替える。

パワコン機種により切替方法が異なります。詳しくは、各機器の操作方法をご確認ください。

パワコン機種選定

コンセントの差し替えは不要。

重要負荷（予め特定していた電源）への供給が蓄電池からの供給へ自動的に切り替わります。特に操作はいりません。

！ 注意

- ・重要負荷では、AC100V 1500W（消費電力合計）までの電気機器がご使用になれます。日照条件によって出力できる電流が低くなる場合があります。
- ・ドライヤーや掃除機など急激に電流が流れる機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。非常用コンセントでご使用の機器を減らしてください。不可電力が下がれば自動的に自立運転が再開されます。

パソコン設置位置を選択します。

屋内設置型

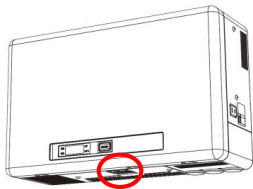
屋外設置型

屋内設置型

運転スイッチの位置を選択します。

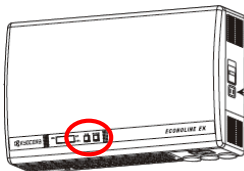
運転スイッチ位置
「下」

エコライン® EX
PVN-406/PVN-553

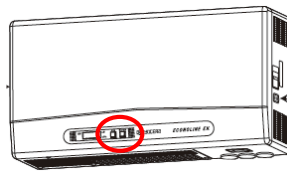


運転スイッチ位置
「前」

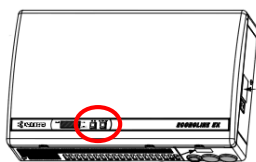
エコライン® EX
PVN-405HM



エコライン® EX
PVN-552



エコライン® EX
PVN-403F



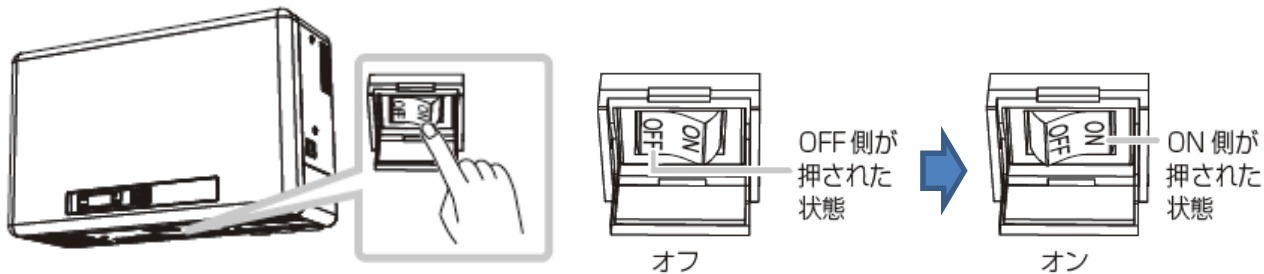
エコライン® EX
PVN-551B



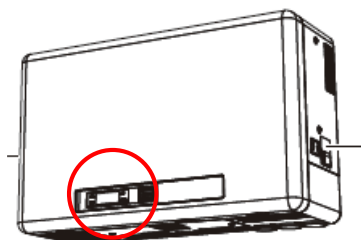
屋内設置型 運転スイッチ位置「下」

停電時の操作

- ① パワーコンディショナ本体下部にある運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にします。



- ② パワーコンディショナ本体前面にある運転ランプと発電電力表示ランプ[kW] が点灯していることを確認します。表示部には、現在の発電電力が表示されます。

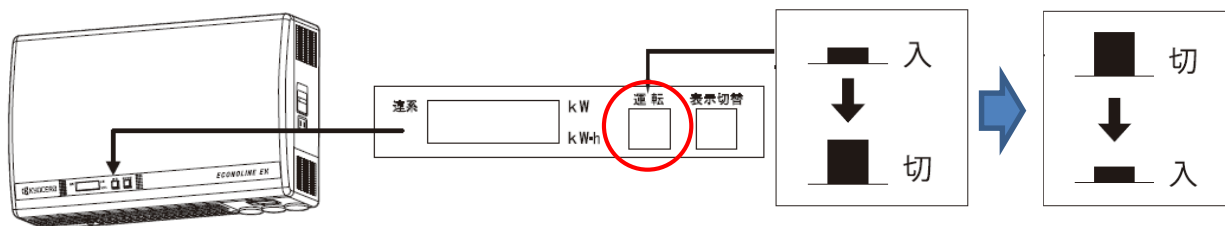


※図は1.24kW分の負荷接続時の例

屋内設置型 運転スイッチ位置「前」

停電時の操作

- ① パワーコンディショナ本体前面にある運転スイッチをいったん「切」にし、1秒以上置いてから「入」にします。
※「切」→「入」の切り替え時間が短い（1秒以内）と、「E0」を表示することがあります。



- ② 表示部は自立運転待機中であることを示す「- - -」を点滅表示し、数秒～1分程度たった後に発電を開始します（表示部には現在の発電電力が表示されます）。



※図は1.24kW分の負荷接続時の例

京セラ 屋外設置型

リモコンの有無を選択します。

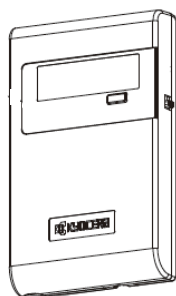
リモコンあり

リモコンなし

屋外設置型 リモコンあり

リモコンのタイプを選択します。

リモコンタイプ
「1」



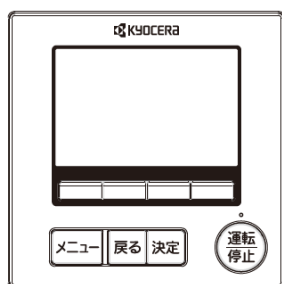
エコライン®
PVS-590

リモコンタイプ
「2」



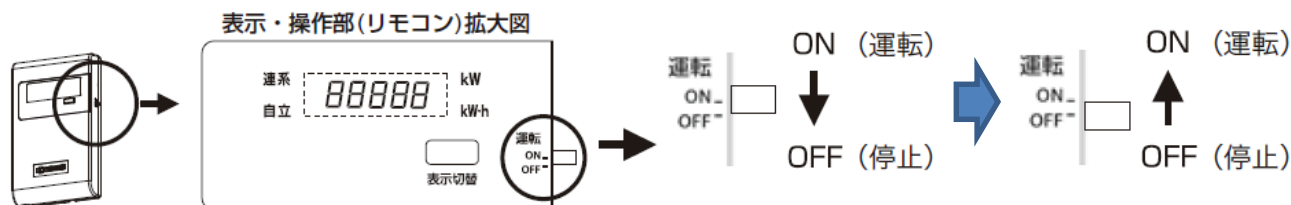
エコライン®
KP44M/KP55M
KP44M2/KP44M2-J4/
KP55M2/KP55M2-J4

リモコンタイプ
「3」



エコライン® RX
PVS-452/PVS-554

- ① リモコン側面にある運転スイッチをいったん「OFF」にし、1秒以上置いてから「ON」にします。
※「切」→「入」の切り替え時間が短い（1秒以内）と、「E0」を表示することがあります。

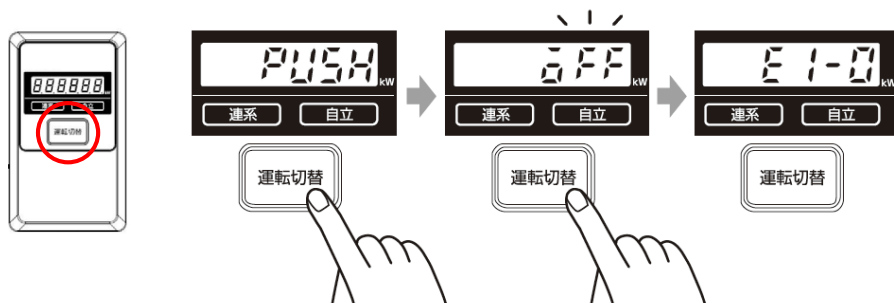


- ② 表示部は自立運転待機中であることを示す「— — —」を点滅表示し、数秒～1分程度たった後に発電を開始します（表示部には現在の発電電力が表示されます）。

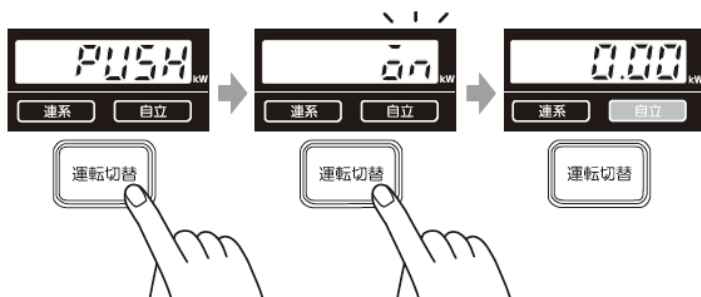


※図は1.24kW分の負荷接続時の例

- ① リモコンの運転切替スイッチを“OFF”が点滅するまで3秒以上長押しします。
※スイッチを押すと、まず“PUSH”が表示され、“OFF”点滅後に、“E1-0”が表示されます。



- ② 運転切替スイッチを“ON”が点滅するまで3秒以上長押しします。
※スイッチを押すと、まず“PUSH”が表示され、自立運転を開始すると、自立ランプが点灯し、停電用コンセントに接続した機器の消費電力が表示されます（何も接続していない場合は“0.00”が表示されます）。
“----”が表示される場合は、数分後に自立運転を開始します。



※自立運転を停止させるには、運転切替スイッチを“OFF”が点滅するまで3秒以上長押ししてください。
再度運転切替スイッチを“ON”が点滅するまで3秒以上長押しすると、自立運転を再開します。

- ① リモコンの運転/停止ボタンを押して、運転切替画面を表示させ、カーソルボタン「▲▼」を押して、「一括自立」に「▶」を合わせます。



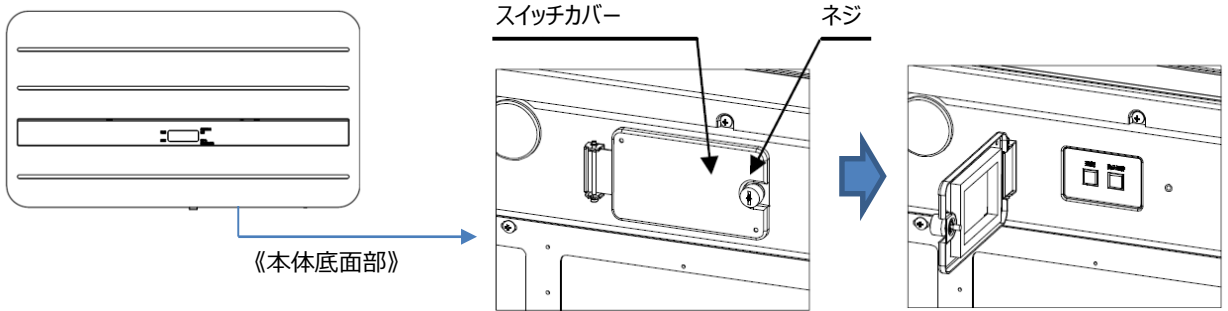
- ② 「決定」ボタンを押すと、自立運転を開始します。



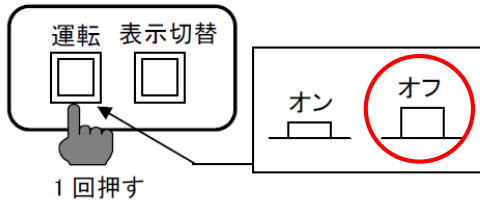
屋外設置型 リモコンなし

停電時の操作

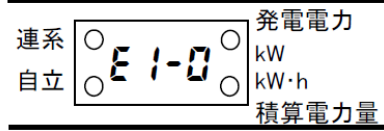
- ① パワコン本体底面部にあるスイッチカバーのネジを回してスイッチカバーを開けます。
※ネジが固い場合はコインまたはドライバーをご使用ください。



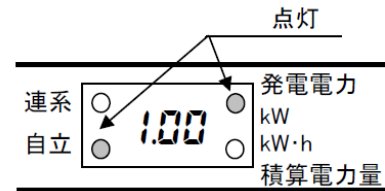
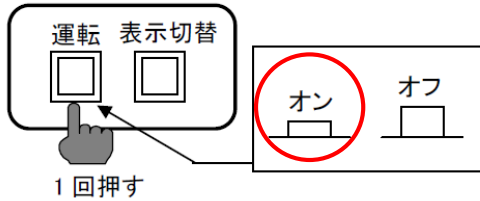
- ② 運転スイッチを「オフ」にします。
※太陽電池が発電していれば本体前面の表示部に「E1-0」が表示されます。
(発電していないと全ての表示が消灯します。)



《本体正面表示部》



- ③ 運転スイッチを「オン」にすると、数秒後に自立ランプが点灯し、自立運転を開始します。
※表示部には停電用コンセントに接続した機器の消費電力が表示されます。停電用コンセントに何も接続していない場合は「0.00」と表示されます。



※図は1.0kW分の負荷接続時の例

STEP 1 コンセントの差し替え等は不要。

重要負荷（予め特定していた電源）への電源供給が、蓄電池からの供給へ切り替わります。コンセントの差し替え等は不要です。

! 注意

- ・重要負荷では、AC100V 1500W（消費電力合計）までの電気機器がご使用になれます。日照条件によって出力できる電流が低くなる場合があります。
- ・ドライヤーや掃除機など急激に電流が流れる機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。非常用コンセントでご使用の機器を減らしてください。不可電力が下がれば自動的に自立運転が再開されます。

STEP 2 室内リモコンで「自立運転」に切り替える。

停電が発生するとリモコン設定器のブザーが鳴り、「自立/連系切換」画面に停電発生のお知らせが表示されます。「◀▶」で「はい」を選択し「決定」ボタンを押すと、画面が「自立運転待機中」になり、しばらくすると「自立運転中」に切り替わって、自立運転を開始します。

